

設立趣旨書

1 趣旨

2022年度より始まりました「総合的な探究の時間」の学習は、瞬く間に全国で様々な取り組みが広がり、いろいろな成果を上げて来ております。本県におきましても、各校で特色ある授業が展開され、その成果を発表する各校独自の発表会も開かれるようになりました。しかし、その内容は玉石混交であり、未だに探究の方法論の確立に至っていない学校もあると聞きます。そこで私たちは、本県の探究学習のレベルを高め、教員及び生徒に学びの場を提供するため、令和6年に探究学習の成果を発表し合う合同発表会の開催を企画しました。

この発表会の準備を進めていく中で、私たちは各校の発表会に参加し合い、交流がとても大切だということを知りました。交流により自分たちに足りないところや、逆に自分たちの取り組みに自信をもって良いところが理解できました。そしてもう一つ、交流に参加して下さった大学の先生や一般企業の方たちから様々なフィードバックを受け取る中で、地元の大学の研究分野や、一般企業の仕事の内容などについての情報を得、郷土について何も知らなかったことを痛感しました。

昨今、山梨県でも人口の激減が重大問題とされています。昨年度の出生数は約4400人で、20年前に比べて約3100人減少しました。この原因は若者の転出です。20代の転出は毎年5000人を越えます。私たちは、これは郷土に対する無理解がもたらすものであると考えます。山梨県は豊かな自然に富み、災害は少なく、産業の資源にも恵まれています。大学の研究も国はおろか世界の中でもトップクラスの研究がたくさんあります。企業の中にも世界的な企業もたくさんあります。それなのにこのような若年者の転出が止まらないのは、高校—大学—企業の連携が弱いことに原因があると考えました。そこで地元大学と地元企業を高校生にもっと知ってもらい取り組みが必要だと考えました。

以上のように、探究学習を盛り上げ、真の学力を持つ生徒を育成し、地元の大学と企業についての理解を深め、山梨から世界を変えてゆく人材の育成を目的として活動をしていくためにはNPOの法人格を取得し、より強固な体制を築いてゆくことが必要だと考え、法人の設立を申請する次第です。

2 申請に至るまでの経過

令和6年9月 山梨県下の高校の合同発表会の準備会を立ち上げ

令和7年1月 準備会の構成員と大会の在り方について審議

令和7年3月 準備会の構成員で令和7年7月に合同発表会を行うことを決定

令和7年5月 発起人会を開催し、設立の趣旨、定款、事業計画及び活動予算、設立当初の役員などについての案を審議

令和7年7月 設立総会を開催し、発起人より設立の趣旨、定款、事業計画及び活動予算、設立当初の役員などについての案を提案し、審議の上決定

令和7年7月31日

特定非営利活動法人やまなし未来アカデミー

設立代表者 住所

氏名 齊藤 正樹